



大里

大里の盆・弓矢踊り

大里には、盆の十三日に精霊棚(A)に仏様と位牌を移して、先祖様を迎える習慣がある。

十四日には「先祖にお団子(B)を供え、踊子は「踊りぞろえ(D)をして踊りの稽古をする。十五日は、黒尾神社で大里に伝わる弓矢踊りと長刀踊りを奉納し、後に手踊りをする。今回は弓矢踊りを中心に紹介したい。

弓矢踊りは、一五八四年、戦国時代の島原の戦を題材とし、この戦に十五歳で参加した島津豊久の勇猛な姿を表している。なお、このとき龍造寺隆信に勝った島津家は、豊臣秀吉の九州平定まで九州最大勢力となる。

弓矢踊りは、唄と鉦(かむ)と太鼓の音で踊る。烏帽子の島津軍と兜の龍造寺軍が二列に並び、先頭の島津豊久役と龍造寺隆信役が名をのりあつて踊りは始まる。唄は脇にいる、ジュウテが、鉦と太鼓は列の間を巡りながら叩く。踊り手は弓を振りながら踊り、弓を射るしぐさをする。終盤、鉦と太鼓が片足跳びになって拍子が速くなり、踊りの山場となる。

その後、庄屋毛で手踊り(F)を、初盆の家の庭先で甲い踊りを踊る。踊りの内容は同じで、「しんじつ」「おしち」「すずむし」の三曲を踊る。

なお、かつて大里の上村委成氏宅では、盆に地獄絵の掛け軸(G)をかけ、住民がこれを見にきた。

大里地区三〇代男性

思い出話

「小さい頃は、踊り手の衣装から落ちた色紙が、何となく特別に見えて訳もなく拾っていました。」



日	月	火	水	木	金	土
26	27	28	29	30	1 旧 6/3	2 旧 6/4
3 旧 6/5	4 旧 6/6	5 旧 6/7	6 旧 6/8	7 旧 6/9	8 旧 6/10	9 旧 6/11
10 旧 6/12	11 旧 6/13	12 旧 6/14	13 旧 6/15	14 旧 6/16	15 旧 6/17	16 旧 6/18
17 旧 6/19	18 旧 6/20 海の日	19 旧 6/21	20 旧 6/22	21 旧 6/23	22 旧 6/24	23 旧 6/25
24 旧 6/26	25 旧 6/27	26 旧 6/28	27 旧 6/29	28 旧 6/30	29 旧 7/1	30 旧 7/2
31 旧 7/3						